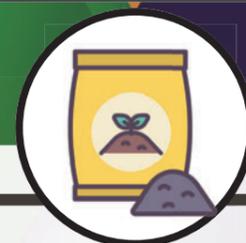


国内肥料資源の利用拡大に向けた マッチングフォーラム in 北海道 ガイドブック



■ 会期 ■

2024年12月4日(水)
12:00-17:00

■ 会場 ■

アクセスサッポロ 大展示場
(北海道札幌市白石区流通センター4-3-55)

■ 主催 ■

国内肥料資源の利用拡大に
向けたマッチングフォーラム事務局
(株式会社リベルタス・コンサルティング)

国内肥料資源の利用拡大
に向けたマッチングフォーラム
in 北海道

発行者
株式会社リベルタス・コンサルティング

発行所
〒102-0085
東京都千代田区六番町2番地14
東越六番町ビル

電話番号
03-3511-2161

URL
<https://www.libertas.co.jp/>



国内肥料資源の 利用拡大に向けた マッチングフォーラム in 北海道

目次

はじめに	1
出展者一覧	2
会場マップ	4
タイムテーブル、基調講演	6
取組事例紹介、ショートプレゼン	7
ポスター出展者	9
相談窓口	31
参考資料	34

はじめに

我が国の農林水産業は、今まさにターニングポイントを迎えています。気候変動等による世界的な食料生産の不安定化やロシアのウクライナ侵略など、食料の安定供給リスクが高まっており、食料の安全保障の強化が国家の緊急かつ最重要課題となっています。

その課題を解決すべく、今般改正された食料・農業・農村基本法（平成11年法律第106号）第42条において「国は、農業資材の安定的な供給を確保するため、輸入に依存する農業資材及びその原料について、国内で生産できる良質な代替物への転換の推進、備蓄への支援その他必要な施策を講ずるものとする。」と規定されました。

農業生産に不可欠な生産資材である肥料については、化学肥料原料の海外依存度が高く、持続可能な農業生産の実現のためには、化学肥料の使用低減と併せて、国内にある資源の肥料利用の拡大を進めていく必要があります。

この度、農林水産省補助事業を活用し、下水汚泥資源や畜産堆肥などの肥料原料を供給する事業者や肥料メーカー、肥料販売事業者、それら肥料を活用する耕種農家等の幅広い関係者が一堂に会し、関係事業者同士の情報交換や連携づくりの場となる「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin北海道」を開催することとなりました。

このような国内肥料資源の肥料利用に関する関係者が一堂に会するイベントを①昨年6月に東京都大田区産業プラザPiOで、②昨年9月に熊本県グランメッセ熊本で、③本年1月に宮城県夢メッセみやぎで、④本年3月に愛知県名古屋国際会議場で、⑤直近では本年9月に広島県広島産業会館において開催したところ、予定のブース出展数を超える参加があり、更には当日の一般来場者も想定を超え、基調講演や事例発表では臨時席を設置するなど国内肥料資源にかかる関心の高さを伺うことができました。

この度のマッチングフォーラムでは、そのような関心の高さや関係者の追加開催の希望にこたえるべく、本年度もより活発なマッチング等が可能となるよう場を準備しました。

このイベントが契機となって、各地域の状況に応じた肥料の国産化に向けた多様な取組が進むことを期待いたします。



出展一覧



肥料製造事業者

ブースNo. 01	中部飼料株式会社 肥料部	有機肥料と無機肥料を配合しペレット状に成型した肥料を製造・販売
ブースNo. 02	水ing株式会社	暮らしや産業に欠かせない水を支える様々な事業領域で、最適なソリューションを提供
ブースNo. 03	株式会社アサギリ	動植物性残渣、食品汚泥、下水汚泥、地域の牛ふんを原料とし、発酵処理をした有機質肥料の製造、販売
ブースNo. 04	(株)ピラミッド・(株)井上政商店・(株)アイエム 共同出展	(株)井上政商店と(株)ピラミッドは高品質汚泥発酵肥料の製造、(株)アイエムは両社製品の販売業者
ブースNo. 05	株式会社山有	「YM菌」による超高温好気性発酵で下水汚泥等を堆肥化。完成品を年間約5千トンで緑地還元
ブースNo. 06	多木化学株式会社	化学肥料のパイオニアとして信頼ある製品と技術サービスを提供
ブースNo. 07	富士見工業株式会社	全国の協力工場ネットワークを駆使し、自然の恵みを凝縮した有機肥料を安定的に日本全国へ供給
ブースNo. 08	丸栄株式会社	国産のかき殻を原料とした「農家の課題解決になる肥料」を製造し、全国に販売
ブースNo. 09	ホクレン肥料株式会社	ホクレングループの一員として、化成肥料・粒状配合肥料(BB肥料)の製造販売
ブースNo. 10	JA十勝清水町	清水町の組合員が生産する農畜産物(畑作物、生乳等)の販売、生産資材の購買、信用・共済事業等を行う
ブースNo. 11	株式会社松屋フーズ	食品残渣、下水道汚泥で堆肥を製造、生産者に供給し、生産野菜を弊社で購入する資源循環事業
ブースNo. 12	株式会社トマウェーブ	食品廃棄物をメタン化し、精製されたガスは売電、副産物として肥料も製造し販売
ブースNo. 13	株式会社ビッグバイオ	自然界の微生物、天然素材の力を最大限に活用した地球環境に負荷を与えない技術開発



農業機械等メーカー

ブースNo. 14	株式会社垣内	畜糞、汚泥堆肥向け造粒機「粒造くんシリーズ」を製造。設計、製造から据付まで対応する産業機械メーカー
ブースNo. 15	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社	各種産業分野向け排水処理事業、分離精製事業及び植物工場事業等のシステム提案を行うプラントメーカー
ブースNo. 16	前澤工業株式会社	・上下水プラント・装置・及びメンテナンス ・堆肥化設備販売・据付
ブースNo. 17	日本家畜貿易株式会社	・乳用牛、肉用牛の凍結精液の輸入販売 ・堆肥攪拌機などの酪農機材の輸入販売
ブースNo. 18	アイケイ商事株式会社	畜産糞尿の固液分離機の製作、販売。堆肥攪拌機の販売。牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎の建設
ブースNo. 19	株式会社大原鉄工所	バイオガス発電設備、廃棄物リサイクル設備、水門・除塵機・上下水処理設備、雪上車の設計・製造・施工
ブースNo. 20	緑産株式会社	酪農業、畑地灌漑、林業・木質バイオマス関連事業者向けの農業機械・環境機械の販売とアフターサービス



肥料利用者

ブースNo. 21	峯農産食品株式会社	「国内肥料資源」の下水道を活用した堆肥を使用し、農林水産省ガイドラインの「特別栽培農産物」取得
------------------	-----------	---



国内肥料原料供給者

ブースNo. 22	soil	特殊液体肥料の販売、有機JAS申請コンサル、土壌コンサル
ブースNo. 23	株式会社久保田組 S&K環境ワクチンセンター 苫小牧事業所	食品加工残渣、動植物由来の廃棄物、下水汚泥および工業汚泥を原料とした汚泥発酵肥料の製造
ブースNo. 24	埼玉県下水道局下水道事業課	下水処理過程で発生した汚泥の燃焼灰を複合肥料の原料として利用検討



その他

ブースNo. 25	神戸市経済観光局農政計画課	人口100万人以上の大都市の中では1位、近畿圏でも市町村別で5位の農業産出額
ブースNo. 26	滋賀県琵琶湖環境部下水道課	琵琶湖流域下水道高島浄化センターでは、水処理で発生する下水汚泥をコンポスト化して有効利用
ブースNo. 27	株式会社オークネット・アイビーエス	堆肥化ノウハウをデジタル化するための「TAIHI IoT」サービスを提供
ブースNo. 28	フロー株式会社	再生可能エネルギー導入支援やプロジェクトマネジメント、循環型社会の実現に向けたまちづくりの提案
ブースNo. 29	株式会社フジタ	バイオ炭から製造したプライカーボン®を用いて下水処理場からリンを回収し、肥料や堆肥に加工、販売
ブースNo. 30	日本フードパッカー株式会社	日本ハムグループで食肉処理工場を6工場運営
ブースNo. 31	三機工業株式会社	下水汚泥焼却灰を低コストで肥料化することにより、下水汚泥の肥料化率向上に向けて取り組み
ブースNo. 32	バイオマスリサーチ株式会社	農村活性化に向けたバイオガスプラントの導入に必要な構想・計画策定、設計・施工監理、研究・開発
ブースNo. 33	北王コンサルタント株式会社	農業土木や上下水道等公共インフラの調査・設計を主力分野としている建設コンサルタント会社
ブースNo. 34	株式会社天神製作所	・堆肥製造発酵攪拌機メーカー ・造立機メーカー
ブースNo. 35	株式会社敷島ファーム 北海道白老牧場	畜産事業(黒毛和牛一貫飼育)・ダイニング事業(レストラン)・ミート事業(食肉加工、卸売、直売)他。今回は、G.X.エナジー事業として出展
ブースNo. 36	北海道大学大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野	バイオマス利活用を通じて持続可能な地域コミュニティ構築のための技術・社会システムを産官学の連携で開発
ブースNo. 37	全国農業協同組合連合会(JA全農)	農畜産物・生産資材の購販売といった経済事業
ブースNo. 38	農研機構 畜産研究部門	産学官連携により耕種農家でも利用しやすい家畜ふん尿由来の堆肥や液肥の製造技術の開発
ブースNo. 39	(公社)日本下水道協会	「下水道事業を主体的に実施する地方公共団体の事業支援」、「下水道事業を支える民間企業の事業支援」、「官民連携の推進」等に関する事業
ブースNo. 40	(一財)畜産環境整備機構	・家畜ふん尿の低コストで確実な処理・利用技術の開発 ・環境保全型畜産経営技術や総合的飼養管理技術の体系化

相談窓口

ブースNo. 39	(公社)日本下水道協会	・下水汚泥由来肥料の利用状況 ・下水道資源を活用して栽培した作物 ・下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた検討 等
ブースNo. 40	(一財)畜産環境整備機構	家畜排せつ物の堆肥化について、ご相談を受け付け
ブースNo. 41	・農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 ・北海道農政事務所 消費・安全部農産安全管理課 ・北海道農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課 ・独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)	・国内資源を利用した登録肥料の登録・更新申請手続き等に関する相談 ・肥料事業者による自主的な品質管理や生産管理に関する相談
ブースNo. 42	北海道農政事務所 生産経営産業部生産支援課	北海道地域における国内肥料資源の利用拡大に向けた関連情報の提供等
ブースNo. 43	(一社)日本有機資源協会	バイオ液肥(メタン発酵消化液)の利用にかかわる相談
ブースNo. 44	(一社)全国肥料商連合会	国内資源由来肥料の利用拡大に係る製品開発、流通促進、普及活動に対する各段階における事業推進のための相談を受け付け

タイムテーブル

Timetable

- 12:00 - 12:05 開会挨拶
- 12:05 - 13:00 基調講演
- 13:00 - 13:15 堆肥等の有機質資源に関する実態調査報告
- 13:15 - 14:30 先進事例先による取組事例紹介
- 14:30 - 15:18 出展者によるショートプレゼン
- 16:00 - 16:30 農林水産省からのお知らせ
- 17:00 閉会

基調講演

Speech

基調講演

「リジェネラティブ農業から考えるこれからの農業」



北海道大学大学院農学研究院 准教授
(地域連携経済学研究室)

小林 国之 氏

1975年北海道生まれ。

北海道大学大学院農学研究科を修了の後、助教を経て、2016年から現職。主な研究内容は、農村・農業振興に関するネットワーク組織や協同組合などの非営利組織、リジェネラティブ農業におけるソーシャルラーニング、新規参入者や農業後継者が地域社会に与える影響など。

主著に『農協と加工資本 ジャガイモをめぐる攻防』日本経済評論社、2005、『北海道から農協改革を問う』(編著)筑波書房、2017、『北海道農業の到達点と担い手の展望』(編著)農林統計出版、2020、『牛乳から世界がかわる酪農家になりたい君へ』農文協、2024などがある。

家の光協会『地上』にて「これからの協同のあり方研究室」を連載中。

※プログラムの開始時間・終了時間は、進行や都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

取組事例紹介

Speech

先進事例先による取組事例紹介

※時間は前後する可能性があります

- 13:15 - 13:30 ホクレン農業協同組合連合会 粒状堆肥入りBB肥料
- 13:30 - 13:45 北海道十勝総合振興局 家畜糞尿関係
- 13:45 - 14:00 株式会社敷島ファーム 耕畜連携・ペレット堆肥
- 14:00 - 14:15 株式会社バイオマスソリューションズ 食品残渣・ペレット堆肥
- 14:15 - 14:30 岩見沢市 下水汚泥関係

ショートプレゼン

Pitch

出展事業者によるショートプレゼン

※時間は前後する可能性があります

- 14:30 - 14:34 **15** 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 農業機械等メーカー
- 14:34 - 14:38 **01** 中部飼料株式会社 肥料部 肥料製造事業者
- 14:38 - 14:42 **08** 丸栄株式会社 肥料製造事業者
- 14:42 - 14:46 **32** バイオマスリサーチ株式会社 その他
- 14:46 - 14:50 **04** (株)ピラミッド・(株)井上政商店・(株)アイエム 共同出展 肥料製造事業者
- 14:50 - 14:54 **28** フロー株式会社 その他
- 14:54 - 14:58 **10** JA十勝清水町 肥料製造事業者
- 14:58 - 15:02 **27** 株式会社オークネット・アイビーエス その他
- 15:02 - 15:06 **29** 株式会社フジタ その他
- 15:06 - 15:10 **36** 北海道大学大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野 その他
- 15:10 - 15:14 **19** 株式会社大原鉄工所 農業機械等メーカー
- 15:14 - 15:18 **33** 北王コンサルタント株式会社 その他



ポスター出展者

ブース
No. 01

肥料製造事業者



中部飼料株式会社 肥料部

基本DATA

所在地

愛知県知多郡武豊町字二ツ峯116

公式サイト

<https://www.chubushiryo.co.jp/>

主要事業の概要

当社は有機肥料と無機肥料を配合しペレット状に成型した肥料を製造・販売しております。



調達を希望する肥料原料

下水汚泥(回収リン), 食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 石丸 和幸
TEL 0569-72-8511
E-mail k-ishimaru@chubushiryo.co.jp

強み・特長・販売等の実績

主要事業である畜・水産用飼料製造事業のネットワークを活かし、高品質な有機原料(国内肥料資源)を安定して調達できる点と、飼料製造で培った独自のペレット加工技術の2点が特長となります。2年程前よりこの特長を活かし、食品残渣由来の堆肥等の未利用資源を使用したペレット製品の開発に取り組んでおり、その製造・販売も徐々に伸びつつあります(2023年度は販売実績で400t以上)

ブース
No. 02

肥料製造事業者



水ing株式会社

基本DATA

所在地

北海道札幌市中央区北七条西15-28-11

公式サイト

<https://www.swing-w.com/>

主要事業の概要

暮らしや産業に欠かせない水を支える様々な事業領域で、最適なソリューションを提供します。



調達を希望する肥料原料

下水汚泥

出展担当

担当者 笹岡 祐全
TEL 070-8685-1455
E-mail sasaoka.yuzen@swing-w.com

強み・特長・販売等の実績

1. コンポスト化
下水汚泥資源活用促進モデル実証(農水省)の進行管理役として参画(R5~7)。下水汚泥と地域資源を合わせた堆肥化実証プロジェクトを実施中。
2. リン回収・肥料化
神戸市東灘処理場にて、B-DASH事業実証(国交省)受託(H24,R5)し、下水回収リン資源を活用した肥料(こうべハーベスト)の開発、販売等行う。また、福岡市和白水処理センターへリン回収装置を導入。

ブース
No. 03

肥料製造事業者



株式会社アサギリ

基本DATA

所在地

静岡県富士宮市人穴203-51

公式サイト

<https://asagiri.info/>

主要事業の概要

動植物性残渣、食品汚泥、下水汚泥、地域の牛ふんを原料とし、発酵処理をした有機質肥料の製造、販売。



調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛), 家畜ふん堆肥(ブロイラー), 家畜ふん堆肥(採卵鶏), 下水汚泥(コンポスト), 食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 岩田 宏樹
TEL 080-8452-2958
E-mail h-iwata@asagiri-f.co.jp

強み・特長・販売等の実績

静岡県内最大級のコンポスト設備で、年間4万t以上の原料を受け入れ、120万袋(20kg袋)の製袋能力を有します。販売実績は20kg袋として40万袋/年、会社全体として2万t/年を製造、販売。製品の特長は、稲作・果樹・葉物野菜・根類野菜など野菜の種類を問わず使用可能。アサギリMIXIには有用微生物やミネラルが豊富に含まれ、完全熟成製品の為臭いが少ない資材です。ペレット商品は、機械散布可能です。

ブース
No. 04

肥料製造事業者



(株)ピラミッド・(株)井上政商店・(株)アイエム 共同出展

基本DATA

所在地・公式サイト

<株式会社ピラミッド 栃木工場>
栃木県那須郡那珂川町芳井4-35
<https://www.pymd.co.jp/eco/>

<株式会社井上政商店 / 株式会社アイエム>
東京都渋谷区桜丘町10-13-101
<https://inouemasa.co.jp/>

主要事業の概要

(株)井上政商店と(株)ピラミッドは高品質汚泥発酵肥料の製造、(株)アイエムは両社製品の販売業者である。



調達を希望する肥料原料

下水汚泥(コンポスト)

出展担当

担当者 井上 政太郎・石川 綾平
TEL 03-6450-4204
E-mail h.nakano@inouemasa.co.jp

強み・特長・販売等の実績

製品の発酵熟度が高く、肥料として窒素やリン酸及び多くの微量元素を含有し、また活性の強い腐植酸や有益微生物も含まれており、土壌の物理性、化学性及び生物性の改善にも役立っている。一定の量を使えば、化学肥料使用量の削減も可能で、長年にわたって使えば土壌の良い状態が維持され、持続的な農業生産が可能になる。なお、福岡及び栃木にそれぞれ製造工場を持っており、全国的に出荷することも可能。



株式会社山有

基本DATA

所在地

鹿児島県鹿児島市城南町7番47号210

公式サイト

<https://ym-sanyuu.co.jp/>

主要事業の概要

「YM菌」による超高温好気性発酵で下水汚泥等を堆肥化。完成品を年間約5千トンを経済的に還元しています。



調達を希望する肥料原料

下水汚泥 (コンポスト)

出展担当

担当者 坂元 貴幸
TEL 099-225-3956
E-mail sakamoto@ym-saunyu.co.jp

強み・特長・販売等の実績

超高温好気性発酵は45日設計の高速堆肥化です。副資材を必要とせず、含水率90%超のバイオマスも30%以下の取り扱いやすい肥料になります。鹿児島市下水汚泥堆肥化場を43年間維持管理しています。代理店を通じて22道県約40工場に堆肥化技術を提供しています。超高温発酵により雑草の種子やウイルス等を死滅させます。



多木化学株式会社

基本DATA

所在地

兵庫県加古川市別府町新野辺3050番地

公式サイト

<https://www.takichem.co.jp/>

主要事業の概要

化学肥料のパイオニアとして信頼ある製品と技術サービスを提供しています。



調達を希望する肥料原料

牛肉骨粉,食品残渣由来堆肥,BS効果のある原料など

出展担当

担当者 長尾 友之
TEL 079-436-0318
E-mail nagao@takichem.co.jp

強み・特長・販売等の実績

わが国最初の人造肥料として明治23年(1890年)に骨粉を原料とした過リン酸石灰の製造を開始した肥料メーカーです。創業当時よりリン酸にこだわり、いかに作物へ効果的に効かすか研究を積み重ね、商品開発、技術普及に取り組んでおります。現在はリン酸肥料だけでなく化成肥料、有機化成、液肥、葉面散布剤などを扱う総合肥料メーカーです。今後は国内資源を利用した肥料の開発に取り組みたいと考えています。



富士見工業株式会社

基本DATA

所在地

静岡県静岡市駿河区富士見台1丁目21番22号

公式サイト

<https://fujimi-group.co.jp/>

主要事業の概要

全国の協力工場ネットワークを駆使し、自然の恵みを凝縮した有機肥料を安定的に日本全国へ供給。



調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(コンポスト),食品残渣由来堆肥,その他

出展担当

担当者 安彦 友人
TEL 011-866-9780
E-mail t.abiko@fujimi-group.co.jp

強み・特長・販売等の実績

創業70年以上の歴史と実績を誇る当社は、全国の協力工場ネットワークを駆使し、徹底した品質管理のもとで製造された有機肥料を安定供給しています。世代を超えて受け継がれてきた土壌分析と堆肥製造のノウハウに基づき、大地の恵みを最大限に引き出します。長年の経験と科学的なアプローチを融合し「地力をデザインする」という理念のもと、広域流通で販売できる安定供給体制を構築し、持続可能な農業の実現を目指しています。



丸栄株式会社

基本DATA

所在地

広島県広島市中区十日市町1丁目4番31号

公式サイト

<https://hiroshima-maruei.com/>

主要事業の概要

国産のかき殻を原料とした「農家の課題解決になる肥料」を製造し、全国に販売しています。



調達を希望する肥料原料

水酸化マグネシウム,微量要素資材,腐植資材

出展担当

担当者 立木 仁
TEL 090-5690-0001
E-mail j.tachiki@hiroshima-maruei.com

強み・特長・販売等の実績

独自製法により、水分量、硬度、粒度が整った高品質な商品を短期のリードタイムで納品が可能です。かき殻と2種類の肥料を混合した粉末品や粒状品の製造も可能です。新製品の「カキテツ」は、硫化水素を吸着する効果があり(広島大学で実証済み)、多くの被害が出ているガス湧きに効果的な対策ができる製品です。



ホクレン肥料株式会社

基本DATA

所在地
北海道札幌市中央区北4条西1丁目1番地
北農ビル18階
公式サイト
<http://hokurenhiroyo.co.jp/>

主要事業の概要

ホクレングループの一員として、化成肥料・粒状配合肥料 (BB肥料) の製造販売を行っています。

調達を希望する肥料原料

鶏糞焼灰

出展担当

担当者 ホクレン肥料 (株) 営業企画部 営業企画課
TEL 011-222-2444
E-mail matsuoka.takamasa@hokurenhiroyo.co.jp



強み・特長・販売等の実績

当社は北海道内に4か所肥料製造工場があり、化成肥料・粒状配合肥料合わせて700を超える銘柄数を取り扱っているほか、北見工場・空知工場ではホクレンより業務委託されている土壌分析センターを併設し、土壌分析データに基づく適正施肥の普及に貢献しています。また、環境負荷軽減に向けて粒状堆肥を原料に配合した「めぐりサイクル・みどりサイクル」シリーズを令和6年6月より販売しております。



株式会社松屋フーズ

基本DATA

所在地
東京都武蔵野市中町1-14-5
公式サイト
<https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp/>

主要事業の概要

食品残渣、下水道汚泥で堆肥を製造、生産者に供給し、生産野菜を弊社で購入する資源循環事業。

調達を希望する肥料原料

下水汚泥 (コンポスト) ,食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 安藤 吉信
TEL 090-3205-9213
E-mail ando@matsuyafoods.co.jp

みんなの食卓でありたい。



強み・特長・販売等の実績

静岡県で日量100t受入可能な施設で、動植物性残渣、汚泥を受け入れ堆肥化、飼料化の事業展開中。堆肥原料は産業廃棄物として食品残渣、食品工場汚泥、畜糞等を受け入れ。堆肥場は日量30t処理×2施設を運営中。今回堆肥ニーズのある北海道で実施を計画



JA十勝清水町

基本DATA

所在地
北海道上川郡清水町南2条1丁目8番地
公式サイト
<https://portal.ja-shimizu.or.jp/>

主要事業の概要

清水町の組合員が生産する農畜産物 (畑作物、生乳等) の販売、生産資材の購買、信用・共済事業等を行う。

調達を希望する肥料原料

天然木質チップ

出展担当

担当者 後藤 聖奈
TEL 0156-62-2163
E-mail s.gotou@ja-shimizu.or.jp



強み・特長・販売等の実績

「しみず有機」は清水町内で発生する搾乳牛糞と採卵鶏糞に、水分調整の天然木質チップを添加し、十分に腐熟化させた堆肥ペレットです。輸送性に優れ、製造工程で発生する熱により雑草種子や病原菌の心配がなく、施用時期を問わずご使用いただけます。化学的な物質を添加していないため有機農業者にご愛用いただき、一般の耕種農家や酪農家にも数多くご利用いただいております。詳しくは当JAホームページをご覧ください。



株式会社トマウェーブ

基本DATA

所在地
北海道苫小牧市字勇払285番地1
公式サイト
<http://www.tomasei.net/tomawave/>

主要事業の概要

食品廃棄物をメタン化し、精製されたガスは売電、副産物として肥料も製造し販売しております。

調達を希望する肥料原料

下水汚泥 (コンポスト) ,食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 熊谷 賢
TEL 0144-84-7830
E-mail kumagai@tomasei.net



強み・特長・販売等の実績

食品廃棄物をメタン発酵の原料とし、再生可能エネルギーであるメタンガスを精製します。副産物である消化液は、堆肥として農地へと循環させることで、資源を無駄なく有効利用する事が可能です。また、この事業は北海道内事例 (肥料化) 第1号、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 (平成12年度法律第116号) 第19条第1項に基づいた認定を受けており、私たちは「食品リサイクルグループ」に取り組んでおります。



株式会社ビッグバイオ

基本DATA

所在地
熊本県宇城市小川町西海東2100

公式サイト
<https://big-bio.com/>

主要事業の概要

自然界の微生物、天然素材の力を最大限に活用した地球環境に負荷を与えない技術開発をおこなっている。

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),食品残渣由来堆肥,腐葉土,糞,パーク,もみ殻など植物性堆肥

出展担当

担当者 吉岡 拓哉
TEL 0964-47-5810
E-mail info@big-bio.com



強み・特長・販売等の実績

弊社独自で生み出した微生物の力を使い、発酵の効率化による質の高い肥料の生産を行うことができます。また微生物そのものを封入した土壌改良材の製造を行っており、作物の生育促進、耐病性の向上の効果を発揮することができます。土壌改良材を使用することで、使用する肥料を約40%削減することが期待できる。イチゴでのフィールド試験では、収穫量が約30%アップし、労力は削減し、収益の向上を図ることができた。



株式会社垣内

基本DATA

所在地
高知県南国市岡豊町中島391-8

主要事業の概要

畜糞、汚泥堆肥向け造粒機「粒造くんシリーズ」を製造。設計、製造から据付まで対応する産業機械メーカー。

出展担当

担当者 大久保 栄治
TEL 088-866-2848
E-mail e_okubo@kk-kakiuchi.co.jp



強み・特長・販売等の実績

「粒造くん」シリーズは連続自動運転、省力化、低温造粒等の特徴とする造粒機で畜産業界他に350台以上の納入実績があります。弊社は造粒テストによるペレットの試作や見学会等のサポートをしており、初めての方にも安心してペレット生産に取り組みいただける体制を整えています。有用な国内資源として堆肥が見直される中、堆肥ペレット化のニーズは拡大しており造粒機メーカーとして肥料資源の利用拡大に貢献していきます。



三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

基本DATA

所在地
東京都中央区日本橋本石町1-2-2

公式サイト
<https://www.mcas.co.jp/>

主要事業の概要

各種産業分野向け排水処理事業、分離精製事業及び植物工場事業等のシステム提案を行うプラントメーカー

出展担当

担当者 長尾 衛
TEL 080-8479-1385
E-mail mamoru.nagao.ma@mcgc.com



築上町液肥濃縮施設



通常液肥 濃縮バイオ液肥

強み・特長・販売等の実績

し尿・浄化槽汚泥等を原料とする液肥(消化液)の肥料成分(窒素、カリウム)をUF膜分離と電気透析で濃縮を行い、資源循環型農業の普及を目指した濃縮バイオ液肥の製造に取り組んでいます。当設備には当社グループ製中空糸膜を用いています。この液肥濃縮技術は、農林水産省「みどりの食料システム戦略」において2050年までの目標とされている、化学肥料の使用量の30%低減に貢献できる最適な技術です。



前澤工業株式会社

基本DATA

所在地
埼玉県川口市仲町5-11

公式サイト
<https://www.maezawa.co.jp/>

主要事業の概要

・上下水プラント・装置・及びメンテナンス
・堆肥化設備販売・据付

出展担当

担当者 安井 大樹
TEL 048-253-0907
E-mail daiki_yasui@maezawa.co.jp



繰り返し不要で省力化。高温発酵で良質堆肥

堆肥化用通気装置で悪臭の発生も防ぎ、処理量アップ

イージージェットのご紹介

強み・特長・販売等の実績

繰り返し不要な高圧通気型堆肥方式
1.技術の概要 プロワの50倍の高圧空気を堆肥に送ることで、酸素が均一に内部まで浸透するエアレーション装置です。
2.技術の特徴 イージージェットの特徴は以下の通りです。
1)冬季でも高温発行 2)臭気の改善 3)繰り返し不要
4)発行期間短縮 5)メンテが容易
3.実績~全国66ヶ所、下水汚泥・生ごみ・食品残渣・畜糞等



日本家畜貿易株式会社

基本DATA

所在地
北海道帯広市昭和町東5線113番地

公式サイト
<https://www.jlt.ne.jp/>

主要事業の概要

- ・乳用牛、肉用牛の凍結精液の輸入販売
- ・堆肥攪拌機などの酪農機材の輸入販売

出展担当

担当者 参納 秀昭
TEL 0155-64-5735
E-mail sanno.emj@ecomaxjapan.com



強み・特長・販売等の実績

建屋の設置を必須とせず、自動攪拌機よりも維持管理費が抑えられ、堆積方式よりも短期間での堆肥化を可能とするトラクター牽引式コンポストターナーを全国の酪農家・畜産農家等に販売し、堆肥の利用促進による化学肥料の使用低減に寄与。



アイケイ商事株式会社

基本DATA

所在地
千葉県香取市虫幡942

公式サイト
<https://iksyoji.co.jp/>

主要事業の概要

畜産糞尿の固液分離機の製作、販売。堆肥攪拌機の販売。牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎の建設。

出展担当

担当者 横田 昌男
TEL 0478-82-7121
E-mail iksyoji@blue.ocn.ne.jp



強み・特長・販売等の実績

36年にわたり、畜産農家との強いパイプを持っている。当社社長は畜産農家でもあるので、生産者の悩みに精通している。農場レイアウトから畜舎建設、糞尿処理プラントまで畜産業のトータルプランナーとしての実績をもつ。



株式会社大原鉄工所

基本DATA

所在地
新潟県長岡市城岡2-8-1

公式サイト
<https://www.oharacorp.co.jp/>

主要事業の概要

バイオガス発電設備、廃棄物リサイクル設備、水門・除塵機・上下水処理設備、雪上車の設計・製造・施工。

出展担当

担当者 大塚 朋貴
TEL 0258-24-2351
E-mail tomoki.ohtsuka@oharacorp.co.jp



強み・特長・販売等の実績

弊社の取り扱う堆肥化装置「ENVIRO-DRUM」は、家畜糞尿や食品廃棄物、下水汚泥を改質し、堆肥化・肥料化する装置です。この装置により、従来の生物処理と比較して、低エネルギー・低コストで堆肥・肥料へと改質することが可能です。



緑産株式会社

基本DATA

所在地
北海道帯広市西19条北2丁目4-25

公式サイト
<https://ryokusan.co.jp/>

主要事業の概要

酪農業、畑地灌漑、林業・木質バイオマス関連事業者向けの農業機械・環境機械の販売とアフターサービス。

出展担当

担当者 森山 純武
TEL 0155-38-2756
E-mail tokachi@ryokusan.co.jp



強み・特長・販売等の実績

1969年創業以来、「生物資源の循環利用による環境社会の構築」を理念に、革新的かつ世界トップ水準の機械製品を提供しております。畜産分野では、家畜ふん尿から高品質な有機肥料（堆肥や液肥スラリー等）を高効率に製造する、自走式コンポストターナー、パイオチョッパーミキサー、スラリーポンプ、ミキサー、セパレーター、施肥用タンカー等の実績豊富な製品群を取り揃えています。



峯農産食品株式会社

基本DATA

所在地
北海道岩見沢市双葉町110-4

公式サイト
<https://minenosanshokuhin.com>

主要事業の概要

「国内肥料資源」の下水道を活用した堆肥を使用し、主食用水稻で農林水産省ガイドラインの「特別栽培農産物」取得。

出展担当

担当者 峯 淳一
TEL 090-6870-6245
E-mail kitakurin-0519@chime.ocn.ne.jp



峯農産食品株式会社

強み・特長・販売等の実績

循環型農業の基本となる土づくりに向け43年の歳月を、今日まで継続して進めています。下水道資源を活用して農業生産する「じゅんかん育ち®」を推進し、岩見沢市のふるさと納税返礼品をはじめ、当市の米穀店やECサイトで販売を展開中です。2024年、農林水産省「見える化」で温室効果ガス削減・生物多様性で3つ星ダブル取得をする事が出来ました。



soil

基本DATA

所在地
北海道川上郡標茶町麻生4丁目26番地

公式サイト
<https://soilproject0904.wixsite.com/soil>

主要事業の概要

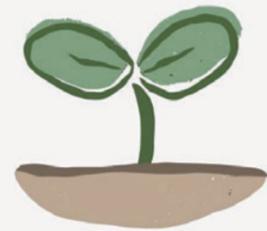
特殊液体肥料の販売、有機JAS申請コンサル、土壌コンサル

提供可能な肥料原料

特殊液体肥料(牛糞由来)

出展担当

担当者 今村 太一
TEL 090-7648-4675
E-mail soilproject0904@gmail.com



soil

強み・特長・販売等の実績

自然に寄せればシンプルになる。という理念で、労働や経済を支えます。生産者、関連業者とコミュニティを作り、有機化のきっかけを作る会社を目指しています。始まって1年の会社ですが、スタッフ全員が有機JAS申請コンサルが出来ます。よって、有機への深い理解があり、JAとの協力関係もあります。販売する液体肥料も有機JASに登録済。1年でも有機農家のJAS登録は13件、関わる農家件数は100件を超えました。



株式会社久保田組 S&K環境ワクチンセンター 苫小牧事業所

基本DATA

所在地
北海道苫小牧市字勇払265-32

公式サイト
<http://www.kubota-gumi.jp/>

主要事業の概要

食品加工残差、動植物由来の廃棄物、下水汚泥および工業汚泥を原料とした汚泥発酵肥料の製造

提供可能な肥料原料

下水汚泥(コンポスト)、食品残渣由来堆肥、動植物由来および下水汚泥、工業汚泥を原料とした普通肥料

出展担当

担当者 廣島 貴典
TEL 0144-52-2722
E-mail h-takanori@kubota-gumi.jp



強み・特長・販売等の実績

発酵過程で90℃以上に保つことができ、完熟堆肥にすることができます。製品は含水率30%未満にしていますので使いやすくなっています。菌体資材としても使用でき、麦などの麦稈すき込み時期に使用すると土中での分解が促進されます。販売実績としては麦、米、ピーマン、アスパラ、牧草などに利用されています。



埼玉県下水道局下水道事業課

基本DATA

所在地
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-13-3

公式サイト
<https://www.pref.saitama.lg.jp/c1502/shigen/hiryuu.html>

主要事業の概要

下水処理過程で発生した汚泥の燃焼灰を複合肥料の原料として利用する検討を進めています。

提供可能な肥料原料

下水汚泥燃焼灰

出展担当

担当者 井村、新井、須永
TEL 048-830-5448
E-mail a5448-01@pref.saitama.lg.jp



強み・特長・販売等の実績

下水処理過程で発生する汚泥の燃焼灰は、りん酸を多く含有しています。埼玉県下水道局では、今年4月に全国で初めて下水汚泥燃焼灰を菌体りん酸肥料として登録しました。現在、肥料会社等と協力して、肥料原料としての下水汚泥燃焼灰の利用可能性の検討を進めています。



神戸市経済観光局農政計画課

基本DATA

所在地
兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12

公式サイト
<https://www.city.kobe.lg.jp/>

主要事業の概要

人口100万人以上の大都市の中では1位、近畿圏でも市町村別で5位の農業産出額を誇っています。

出展担当

担当者 佐藤 大輔
TEL 078-984-0369
E-mail nouseikeikakuka@office.city.kobe.lg.jp



強み・特長・販売等の実績

市内の下水処理場において、下水に含まれるリンを回収し、これを「こうべ再生リン」として肥料原料として供給しています。肥料製造事業者がこれをもとに「こうべハーベスト」肥料を製造し、市内農業者に販売しています。市としては、市民、農業者に向けて、この取り組みの意義を発信し、地域資源循環の取り組みを広げようとしています。



滋賀県琵琶湖環境部下水道課

基本DATA

所在地
滋賀県大津市京町四丁目1-1

公式サイト
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/gaiyou/soshiki/biwakokankyoubu/gesuidouka/>

主要事業の概要

琵琶湖流域下水道高島浄化センターでは、水処理で発生する下水汚泥をコンポスト化して有効利用しています。

出展担当

担当者 山本 誠太
TEL 077-528-4213
E-mail dd00@pref.shiga.lg.jp



強み・特長・販売等の実績

これまで産業廃棄物処分していた下水汚泥の有効利用のため、下水道審議会の答申を経て事業方針を定めました。施設的设计・建設に加えて維持管理まで一体化した方式で整備し、長期的に事業を安定実施できる施設としています。製造した汚泥肥料は肥料登録し、県内在住者を対象とした公募により愛称を「おうみっ肥(こ)」として現地でセルフ方式で販売をしています。今年6月の販売開始以来、市内外、県外も含め売れ行きは好調です。



株式会社オークネット・アイビーエス

基本DATA

所在地
東京都港区北青山2-5-8

公式サイト
<https://aucnet-ibs.com/>

主要事業の概要

堆肥化ノウハウをデジタル化するための「TAIHI IoT」サービスを提供しています。

出展担当

担当者 間宮 弥生
TEL 070-7514-0741
E-mail mamiyay@ns.aucnet.co.jp



強み・特長・販売等の実績

従来、堆肥製造工程において堆肥の温度をアナログ的に測定し、属人的なタイミングで攪拌・散水を行っていました。このアナログ的測定と属人化を解決するために、堆肥温度の自動測定および自動収集を行なう温度センサーデバイスと、温度および堆肥攪拌のタイミングを可視化するためのダッシュボードを開発しました。



フロー株式会社

基本DATA

所在地
北海道札幌市北区篠路町上篠路101-36

公式サイト
<https://flow.hokkaido.jp/>

主要事業の概要

再生可能エネルギー導入支援やプロジェクトマネジメント、循環型社会の実現に向けたまちづくりの提案

出展担当

担当者 須藤 貴宣
TEL 080-4752-2196
E-mail sudo@flow.hokkaido.jp



強み・特長・販売等の実績

廃棄物からエネルギーと完熟肥料を産み出す畜産メタン発酵バイオガスプラントの計画策定や安定稼働の為に運転管理サポートを行っています。プラント事業の成功を目指し、町の廃棄物処理施設・エネルギー施設としての整備を提案しています。当日は弊社が管理を行うプラントで作られた完熟肥料であるバイオ液肥と再生敷料の実物を展示します。



株式会社フジタ

基本DATA

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル

公式サイト <https://www.fujita.co.jp/>

主要事業の概要

パイオ炭から製造したプライカーボン®を用いて下水処理場からリンを回収し、肥料や堆肥に加工、販売する。



強み・特長・販売等の実績

- 特徴と強み
 - ・未利用バイオマス(を炭化した炭化物の)有効活用
 - ・下水汚泥分離液等からのリン回収
 - ・脱炭素・資源循環を実現し、地力を回復させる肥料および堆肥の製造
 - ・「地球を冷やす作物」等のブランディング支援、循環型まちづくりへの寄与
- トピックス
 - ・R6年6月より福山市で下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)を開始
 - ・R6年4月に「プライム肥料1号」として肥料登録完了

出展担当

担当者 倉谷 直樹
TEL 080-5861-9491
E-mail naoki.kuratani@fujita.co.jp



日本フードパッカー株式会社

基本DATA

所在地 東京都品川区大崎2丁目1-1 ThinkParkTower13階

公式サイト <https://www.foodpacker.jp/>

主要事業の概要

日本ハムグループで食肉処理工場を6工場運営



強み・特長・販売等の実績

食肉処理工場由来の汚泥を継続的に定量供給できる為、肥料原料としても安定的に供給できる
※既存、汚泥肥料登録済

出展担当

担当者 高野 信一
TEL 090-1145-9804
E-mail s.takano@nipponham.co.jp



三機工業株式会社

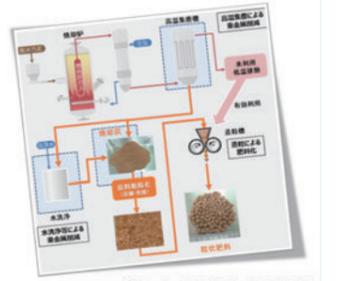
基本DATA

所在地 神奈川県大和市中央林間7-10-1 三機テクノセンター 4階

公式サイト <https://www.sanki.co.jp/>

主要事業の概要

下水汚泥焼却灰を低コストで肥料化することにより、下水汚泥の肥料化率向上に向けて取り組みます。



世の中を快適にする仕事
三機工業

強み・特長・販売等の実績

下水に流入したりんは汚泥焼却後に発生する焼却灰に最も多く含まれています。しかしほとんどの焼却灰はセメント原料や埋立処分されており、概ね肥料として利用されておりません。従来技術では焼却灰を肥料化のコストが課題であり、弊社では下水汚泥焼却灰から低コストに肥料化する技術を確立し、焼却灰の肥料利用拡大を目指しています。

出展担当

担当者 岩井 良博
TEL 046-211-2144
E-mail satoru_nagura@eng.sanki.co.jp



バイオマスリサーチ株式会社

基本DATA

所在地 北海道帯広市東2条南4丁目10番地

公式サイト <https://biomass-research.net/index.html>

主要事業の概要

農村活性化に向けたバイオガスプラントの導入に必要な構想・計画策定、設計・施工監理、研究・開発



強み・特長・販売等の実績

地域の課題解決としてふん尿処理を目的としたBGPの国内導入に1997年から先立って取り組み、現在は全国に業務展開。「バイオマス産業都市」構想では、道内38市町村の約8割、道内自治体が運営するBGP事業の9割以上に関与。道外では、鹿児島県の委託事業(20~24年度)、宮崎県と連携協定を締結(昨年4月12日)。BGPを地域の肥料製造施設と位置づけ、消化液の利活用促進に向けた研究・開発・実証試験を実施。

出展担当

担当者 津守 佑亮
TEL 0155-26-0585
E-mail tsumori@biomass-research.com



北王コンサルタント株式会社

基本DATA

所在地
北海道帯広市西7条北1丁目

公式サイト
<https://hokuo.co.jp/>

主要事業の概要

弊社は農業土木や上下水道等公共インフラの調査・設計を主力分野としている建設コンサルタント会社です。



強み・特長・販売等の実績

2020年に「十勝ビストロ下水道プロジェクト」を立上げました。このプロジェクトの目的は十勝の下水道と地域活性化で、「下水道」と「食」と「農」をテーマとしたセミナー形式の会議、意見交換会、視察等を5回行い、延べ100名以上が参加しました。また、弊社グループの農業生産法人北王農林(株)では、本プロジェクトで下水汚泥肥料の活用事例、安全性、効果、法手続きを学び、現在、年間100tを活用しています。

出展担当

担当者 石川 健司
TEL 0155-26-3775
E-mail k-ishikawa@hokuo.co.jp



株式会社天神製作所

基本DATA

所在地
宮崎県都城市都北町7210-2

公式サイト
<https://tenjin-tm.co.jp/>

主要事業の概要

- ・堆肥製造発酵攪拌機メーカー
- ・造立機メーカー



強み・特長・販売等の実績

北海道から沖縄まで約500か所に堆肥製造プラントを設置しています。堆肥の製造機械から堆肥の袋詰め、ペレット化の機械設備まで製造・販売しています。

出展担当

担当者 天神 隆
TEL 0986-47-1825
E-mail tenjin.t@tenjin-tm.co.jp



株式会社敷島ファーム北海道白老牧場

基本DATA

所在地
北海道白老郡白老町竹浦344-54

公式サイト
<https://www.shikishima-farm.jp/>

主要事業の概要

- ・畜産事業(黒毛和牛一貫飼育)
 - ・ダイニング事業(レストラン)
 - ・ミート事業(食肉加工、卸売、直売)
 - ・リゾート事業(ホテル)
 - ・農園事業(野菜)
 - ・G.X.エナジー事業(スキ植栽、耕畜連携等)
- 今回は、G.X.エナジー事業として出展



強み・特長・販売等の実績

栃木県と、北海道の2拠点で黒毛和牛の一貫生産を行っています。当社の目指すところにゼロカーボンビーフへの挑戦というものがああり、その活動の中の1つが今回の堆肥ペレットの製造です。畜産業界は今厳しい状況です。そんな中で出来る限り最低限の設備で考えて試行錯誤を繰り返し挑戦しています。毎日のように新聞に載る飼料、肥料の高騰そして脱炭素。これらの問題に少しでも力になりたいという願いでこれからも活動を続けます。

出展担当

担当者 合田 昌弘
TEL 090-8804-9226
E-mail masahiro-gouda@shikishima-farm.jp



北海道大学大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野

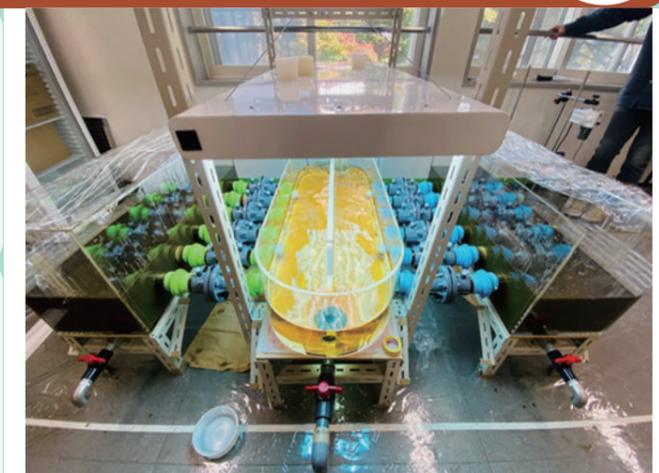
基本DATA

所在地
北海道札幌市北区北13条西8丁目

公式サイト
<https://hokudai-biocomp.jp/>
<https://www.hokudai.ac.jp/>

主要事業の概要

バイオマス利活用を通じて持続可能な地域コミュニティ構築のための技術・社会システムを産官学の連携で開発



強み・特長・販売等の実績

家畜ふん尿等のバイオマス資源を活用する社会システムを研究しています。大学の強みを生かし、バイオマス活用の地域資源循環に及ぼす影響、メタン発酵消化液を使った微細藻類培養など、環境・社会システムや技術開発を産官学連携で学術的に研究開発しています。またバイオ液肥の利用拡大に向けて、JORA様と協力しバイオガスプラント調査とパンフレット化や、書籍出版を通して広く社会にバイオマス利活用の重要性を発信しています。

出展担当

担当者 落合 知
TEL 011-706-6741
E-mail info_robust@eng.hokudai.ac.jp



全国農業協同組合連合会 (JA全農)

基本DATA

所在地
東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル

公式サイト
<https://www.zenoh.or.jp/>

主要事業の概要

JA全農は農畜産物・生産資材の購販売といった経済事業に取り組んでいます。

出展担当

担当者 石川 梨良
TEL 03-6271-8215
E-mail ishikawa-rira@zenoh.or.jp



強み・特長・販売等の実績

国内肥料メーカーと協力し、家畜排せつ物由来の堆肥、鶏糞燃焼灰、下水由来の再生リンといった国内肥料資源を原料とした肥料製品の開発・普及を進めています。また、耕畜連携のマッチング促進を目的としたwebサイト「耕×畜なび」を開発・公開し、堆肥の利活用を普及啓発しています。出展ブースでは、「耕×畜なび」と国内肥料資源需給のデータ分析の結果を紹介します。



農研機構 畜産研究部門

基本DATA

所在地
茨城県つくば市池の台2

公式サイト
<https://www.naro.go.jp/laboratory/nilgs/index.html>

主要事業の概要

産学官連携により耕種農家でも利用しやすい家畜ふん尿由来の堆肥や液肥の製造技術の開発を行っている。

出展担当

担当者 山下 恭広
TEL 029-838-8676
E-mail yamatk@affrc.go.jp



強み・特長・販売等の実績

農林水産省「ペレット堆肥流通・下水汚泥資源等の肥料利用促進技術の開発・実証（【酪5C1】酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発）」、「ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証（【べ4H1】ペレット堆肥の広域流通システムに係る低コスト生産体系の実証）」、「【べ5D1】牛ふんを用いた指定混合肥料の広域流通と耕畜連携体系の確立と実証」(事業主体：農研機構)の支援により研究開発を実施している。



日本下水道協会

基本DATA

所在地
東京都千代田区内神田2-10-12
内神田すいすいビル 5~8階

公式サイト
日本下水道協会 <https://www.jswa.jp/>
日本下水道協会GX <https://www.jswa.jp/gx/>

主要事業の概要

日本下水道協会は、「下水道事業を主体的に実施する地方公共団体の事業支援」、「下水道事業を支える民間企業の事業支援」、「官民連携の推進」等に関する事業を実施しています。

出展担当

担当者 前田、青柳、溝上
TEL 03-6206-0369
E-mail shishin@ngsk.or.jp



強み・特長・販売等の実績

日本下水道協会では、3つの役割(シンクタンク、スポークスマン、ナレッジセンター)を踏まえ、地方公共団体及び民間企業等に対する事業支援を行い、下水道事業を促進し、さらに進化・成熟化させることにより、持続可能な社会の構築に貢献する取組を進めています。下水道GX促進調査専門委員会を令和4年度設置し、地方公共団体向けの脱炭素検討支援方策等の検討や下水汚泥の肥料利用に向けた検討の支援を実施しています。



一般財団法人畜産環境整備機構

基本DATA

所在地
東京都港区虎ノ門5-12-1ワイコービル3F

公式サイト
<https://www.leio.or.jp/>

主要事業の概要

- ・家畜ふん尿の低コストで確実な処理・利用技術の開発
- ・環境保全型畜産経営技術や総合的飼養管理技術の体系化

出展担当

担当者 羽賀 清典
TEL 03-3459-6300
E-mail haga@leio.or.jp



強み・特長・販売等の実績

- ・家畜ふんの堆肥化施設設計マニュアルの出版
- ・家畜ふん堆肥を用いた混合堆肥複合肥料に関するマニュアルの出版
- ・牛、豚、鶏の畜種別の造粒堆肥の混合利用に関するマニュアルの出版
- ・高肥料成分ペレット堆肥の調製と安定貯蔵技術に関するマニュアルの出版
- ・堆肥分析(有料)



相談窓口

ブース
No. 39

下水汚泥関係

公益社団法人 日本下水道協会

受付相談内容等

- ・下水汚泥由来肥料の利用状況
- ・下水道資源を活用して栽培した作物
- ・下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた検討
- ・下水汚泥の肥料利用促進計画の実施に向け、検討内容を具体化するための項目
- ・下水汚泥の肥料利用についての先進事例
- ・下水汚泥肥料の重金属含有量の調査結果

ブース
No. 40

畜産関係

一般財団法人 畜産環境整備機構

受付相談内容等

家畜排せつ物の堆肥化ついて、以下のご相談を受け付けます。

- ・堆肥化の好気性発酵条件に関する相談
- ・堆肥化施設の設計に関する相談
- ・堆肥の成分・品質に関する相談
- ・堆肥の利用に関する相談
- ・堆肥のペレット化についての相談
- ・混合堆肥複合肥料などの施肥設計に関する相談
- ・堆肥化に伴う悪臭防止対策についての相談

ブース
No. 41

その他

農林水産省消費・安全局農産安全管理課
北海道農政事務所消費・安全部農産安全管理課
北海道農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課
独立行政法人農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

受付相談内容等

- ・国内資源を利用した登録肥料の登録・更新申請手続き等に関する相談
- ・肥料事業者による自主的な品質管理や生産管理に関する相談

ブース
No. 42

その他

北海道農政事務所生産経営産業部生産支援課

受付相談内容等

北海道地域における国内肥料資源の利用拡大に向けた関連情報の提供等を行います。

- ・国内肥料資源利用拡大に向けた農林水産省の取組情報
- ・みどりの食料システム戦略関連情報 (みどり認定、税制等)
- ・北海道内における堆肥・消化液等国内肥料資源の活用事例
- ・補助金関連情報

ブース
No. 43

バイオマス関係

一般社団法人 日本有機資源協会

受付相談内容等

バイオ液肥 (メタン発酵消化液) の利用にかかわる相談を承ります。

相談対象

- ・バイオ液肥の製造、メタン発酵システム全体
- ・バイオ液肥の成分・特性
- ・バイオ液肥の施用方法 (時期、場所、運搬、散布車両、散布草地等)
- ・バイオ液肥を固液分離した固分の堆肥または再生敷料としての利用
- ・地域でバイオ液肥を活用するための計画づくり

ブース
No. 44

肥料販売事業者関係

一般社団法人 全国肥料商連合会

受付相談内容等

国内資源由来肥料の利用拡大に係る製品開発、流通促進、普及活動に対する各段階における事業推進のための相談を受け付けます。

当日は東京農大後藤逸男名誉教授と、対応させていただきます。

国内肥料資源推進ロゴマークについて

農林水産省では、令和5年2月に「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会（以下「全国推進協議会」という。）」を設置し、この全国推進協議会の取組の一環として、令和5年6月に「国内肥料資源の利用拡大プロジェクト」を立ち上げるなど、国内の肥料関係者間のマッチング機会の提供、先進事例の横展開・関連情報の発信等、全国各地における国内資源由来肥料の利用拡大に向けた種々の取組を行っています。

この度、国内肥料資源の利用拡大に関する取組を更に推進するため、各会員のHP等への掲載など広報活動への利用や、国内資源由来肥料に添付可能な「国内肥料資源推進ロゴマーク」を作成いたしました。是非、様々な用途でご利用ください。

国内肥料資源推進ロゴマーク



利用例



ロゴマークの利用方法について

本ロゴマークの利用を希望する会員の方は、下記URL先に掲載の「国内肥料資源推進ロゴマーク利用規程」等をご覧ください、利用申請書等必要書類を下記提出先までお送りください。

会員登録をされていない方は、次ページ掲載の「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について」をご確認の上、会員登録をお願いいたします。

(国内肥料資源の利用拡大プロジェクト 3. 国内肥料資源推進ロゴマークの作成)

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryu/kokunaishigen/zenkokukyougikai/project.html

(担当者・お問合せ先・提出先)

農林水産省農産局技術普及課 国内肥料資源推進ロゴマーク担当
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL:03-6744-2182、E-mail:kokunai_shigen@maff.go.jp

国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について

趣旨

農業生産に必要な不可欠な肥料については、その原料の多くを海外に依存していることから、国際市況や原料産出国の輸出に係る動向の影響を強く受け易い状況となっている。

こうした中、農業生産を持続可能なものにするためには、堆肥や下水など肥料成分を含有する国内資源の肥料利用を拡大し、輸入原料に過度に依存した肥料利用からの転換を進めていく必要がある。

このため、国内資源の肥料利用の拡大に向け、関係団体・関係事業者の取組方針等を共有するほか、関係事業者間のマッチング等を進めることなどにより、原料供給から肥料製造、肥料利用まで連携した取組を各地で創出していくことを支援する。

役割・主な活動内容

- I 広域的な連携の取組のサポート** 事業者間のマッチング機会（国内資源利用体制の構築）の場を提供し、新たな連携づくりをサポートします。
- II 生産現場での利用拡大に向けた取組を推進** 先行事例等を基に、国内資源由来肥料の導入メリットや、生産現場での導入に当たって留意すべき事項等を取りまとめ、生産現場における国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組を推進します。
- III 先進事例の横展開・関連情報の提供** 農水省HPにおいて、関連施策情報のほか、会員からの情報を随時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。

出展：農林水産省 (https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryu/kokunaishigen/zenkokusuishin.html)

会員登録について（随時受付中）

農林水産省では、国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の設立趣旨に賛同する会員を募集しています。下記の各号に該当する者であって、会員となることを希望される場合は、下記URLより会員登録を行ってください。

- (ア) 全国推進協議会の設立趣旨に賛同し、全国推進協議会の活動に協力すること。
- (イ) 会員相互で提供情報を共有することに同意していること。
- (ウ) 反社会的勢力に該当しないこと及び反社会的勢力と関わりを持たないこと。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/sizai/member_registration.html